

設計初期から実現する EMC対応と開発効率向上 ～シミュレーション活用による 手戻り削減と最適設計～

製品開発の終盤においてEMC試験にて不具合が見つかった場合、後付けでできる対策は限られており、大きな手戻りが発生します。そのため、設計の初期段階からCAE・シミュレーションを活用した設計フロントローディングや最適設計が有効であることが知られています。本セミナーでは、シミュレーション活用による手戻り削減と最適設計について解説いたします。

日 時

2026年11月25日(水)

14:00～15:30

(13:30から受付開始)

会 場

宮城県産業技術総合センター

(宮城県仙台市泉区明通2-2)

大会議室

参加費

無料 (事前申込制)

定員

30人

内 容

- ・ EMC試験の手戻りを減らす設計初期からのEMC対策
- ・ 熱設計とEMC設計を両立する最適設計アプローチ



※この画像はAIで生成しています

講 師

株式会社IDAJ

熊本 武文 氏、津久井 洋平 氏

お申し込み方法・締切日

下記URLまたはQRコードよりお申し込みください。

<https://logoform.jp/f/f42zv>



【締切：11月18日(水)】